第2期
中川区将来ビジョン

令和6年度～令和10年度

中川区役所

中川区民の皆さまへ

日頃から中川区政の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

中川区ではこのたび、令和6年度から令和10年度までのまちづくりの指針となる「第2期中川区将来ビジョン」を策定いたしました。

策定にあたりまして、皆さまには区民会議や区民アンケートなどの機会を通じて貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

中川区は豊かな自然環境や歴史的な資源・伝統行事などに恵まれている一方、土地が低く、河川が多いため、津波・洪水などによる災害が危惧されます。区民アンケートにおいても防災のニーズが最も高いという結果であったことを踏まえて、地域防災力の向上に注力して施策を展開してまいります。

また、このビジョンは令和2年度から令和5年度までの第1期中川区将来ビジョンの合言葉「つながりづくり♡まちづくり」を引き継ぎ、区役所と区民の皆さまとの協働や、地域の交流、連携を大切に、区役所職員一丸となって、さまざまな取り組みを進めてまいります。区民の皆さまには、引き続き、ご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

令和6年5月　中川区長　久松　克典

目　次

第1章　はじめに …… 1
- 1　区将来ビジョンとは
- 2　第2期区将来ビジョンの計画期間
- 3　第2期区将来ビジョンの策定まで

第2章　第1期区将来ビジョンの総括 …… 2
- 1　ふりかえり
- 2　区を取り巻く環境
- 3　第2期区将来ビジョンに向けて

第3章　第2期区将来ビジョンでめざす中川区の将来像 …… 11
- 1　めざすまちづくり
- 2　まちづくりの合言葉
- 3　めざすまちづくりに向けた取り組み

第4章　めざすまちづくりの実現に向けて …… 18
- 1　区将来ビジョンの進行管理
- 2　住民に身近な総合行政機関
- 3　DXの推進
- 4　SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて

第5章　中川区の概要 …… 19

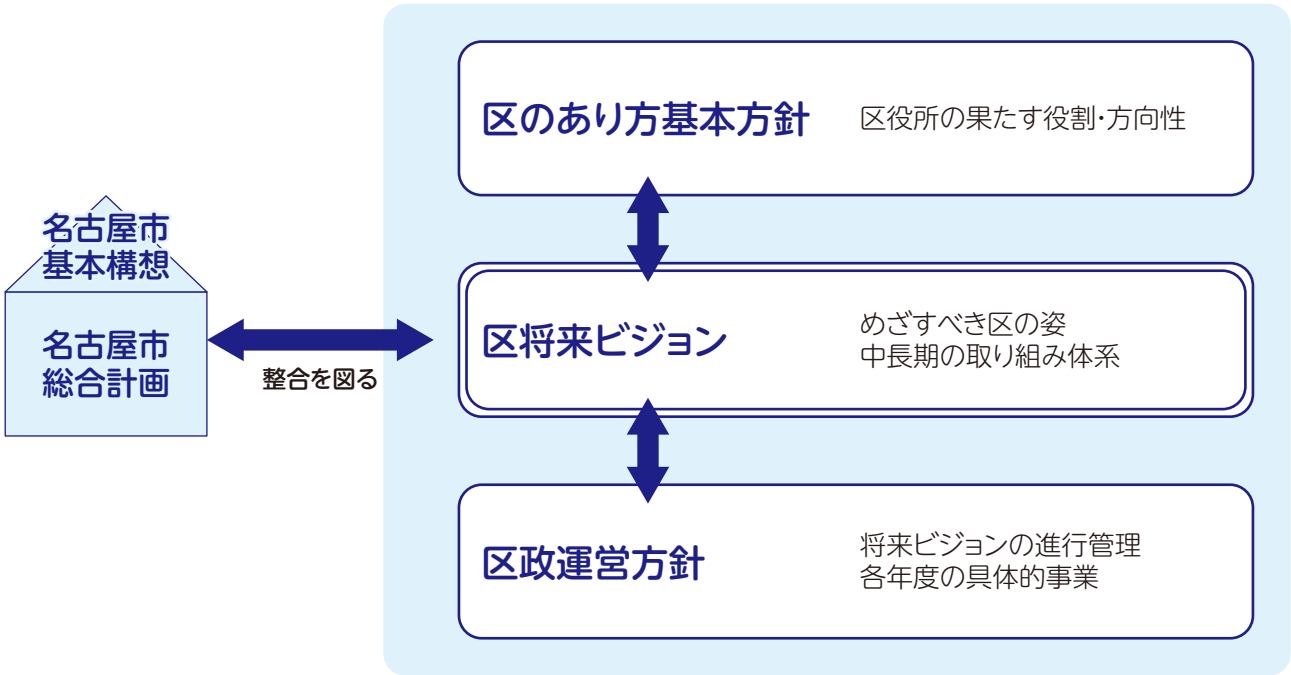
第1章　はじめに

1 区将来ビジョンとは

区将来ビジョンとは、区を取り巻く社会状況の変化を踏まえ、めざしていく区(まち)の姿を明らかにし、その実現に向けた中長期の取り組みを体系化したものです。「区のあり方基本方針」(平成29年3月策定)に基づき各区が策定するものであり、「名古屋市総合計画2023」の個別計画として令和2年5月に「第1期中川区将来ビジョン」を策定しました。

令和2年度から令和5年度までを計画期間として策定した第1期区将来ビジョンを踏まえて、今回、新たに第2期区将来ビジョンを策定しました。

区将来ビジョンの進行管理及び年度ごとの具体的な取り組みは、毎年度策定する区政運営方針に掲載します。



2 第2期区将来ビジョンの計画期間

令和6年度から令和10年度までの5年間

3 第2期区将来ビジョンの策定まで

令和4年度から、区民会議(※意見収集の場「なかが話」を含む)や区政推進会議及び区民アンケートにより意見収集を行い、区民の皆さまのご意見を反映して、「第2期中川区将来ビジョン(案)」を作成しました。令和5年度には「第2期中川区将来ビジョン(案)」に対して区民の皆さまから意見を伺い、令和6年5月「第2期中川区将来ビジョン」を策定いたしました。

第2章　第1期区将来ビジョンの総括

第1期区将来ビジョンでは「安心・安全きれいなまち」「みんなにやさしいまち」「魅力あふれるまち」をめざし各施策に取り組んできました。

1 ふりかえり

施策ごとに定めた成果指標や主な取り組みの結果や課題をまとめました。

その1 安心・安全きれいなまち

施策1-1 地域防災力の向上

指　　標	令和元年度 基準値	令和5年度 目標値	令和5年度 達成値
防災対策への取り組みが 進んでいると思う区民の割合★	47.7%	55%	57.8%
地区防災カルテを活用した防災活動に 取り組んでいる学区の割合★	41.7%	100%	100%

施策1-2 防犯対策・交通安全対策の推進

指　　標	令和元年度 基準値	令和5年度 目標値	令和5年度 達成値
防犯対策への取り組みが 進んでいると思う区民の割合★	55.8%	60%	54.6%
交通安全対策への取り組みが 進んでいると思う区民の割合★	57.6%	65%	54%
交通安全教室の開催回数	79回	90回	62回

施策1-3 快適に暮らせる環境づくり

指　　標	令和元年度 基準値	令和5年度 目標値	令和5年度 達成値
快適な環境づくりへの取り組みが 進んでいると思う区民の割合★	46.7%	55%	49%
クリーンキャンペーンの参加人数	9,727人	10,000人	9,050人

第2章・第3章で★がついている指標は中川区在住の18歳以上の方を無作為に抽出した2,000人を対象として、毎年行っている区民アンケートから算出した値です。
令和元年度 実施期間:令和元年6月17日～7月10日　回答率:33.15%
令和5年度 実施期間:令和5年7月21日～8月11日　回答率:37.55%

◎主な取り組みの結果

- 全学区において防災カルテを活用し、防災に関する意見交換を実施した。(防災)
- 警察署と連携し、全学区の犯罪注意マップ※1を作成し、四半期ごとに各学区に配布することで、防犯意識の高揚を図った。(防犯)

◎課題

- 新たなハザードマップを踏まえた区民の防災意識向上が必要となっている。(防災)
- 自宅での備えや避難場所の把握等、自助に関する区民の防災意識に差がある。(防災)
- ここ数年で特殊詐欺をはじめとした犯罪認知件数や交通事故死亡者数は増加傾向にあり、区民の交通安全意識・防犯意識のさらなる向上が必要である。※2(防犯・交通安全)

※1 犯罪注意マップ:各学区の住宅対象侵入盗、特殊詐欺、自動車関連盗の犯罪発生状況を示した地図
※2 犯罪発生状況、交通死亡事故発生状況は9ページ「区を取り巻く環境」を参照

第1期区将来ビジョンで実施してきた主な事業

「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進

「地区防災カルテ」を活用した意見交換や学区が取り組む防災訓練等の機会で地域に寄り添った支援を実施し、学区ごとの地域特性に応じた自主的な防災活動を促進しました。

地区防災カルテ
地域の地形、災害リスク、防災活動状況等防災に関する情報を学区ごとにまとめたもの。

学区の自主防災訓練

防犯対策の推進

地域で行う防犯活動をより効果的に行っていただくため、学区ごとの犯罪注意マップを作成し、犯罪状況に応じた啓発に活用してもらうよう各学区へ提供しました。

また、警察署との連携、区内高校等との協働による防犯キャンペーンを区内各所で実施し、その地域で多発している罪種に焦点を絞り、適時に啓発を行うことで、効果の向上に努めました。

犯罪注意マップ
学区への配布の他に区のウェブサイトで月ごとの発生状況を掲載しています。

区内高校生との協働による防犯啓発活動

その2 みんなにやさしいまち

施策2-1 子育て環境の充実

指　　標	令和元年度基準値	令和5年度目標値	令和5年度達成値
子育て支援の取り組みが進んでいると思う区民の割合★	53.8%	60%	57.5%
なかがわっ子サポーター※活動件数	255件	300件	273件

※なかがわっ子サポーター:中川区内で、子育てサロンや子育て交流イベント等の地域における子育て支援活動を行うボランティア

施策2-2 子ども・青少年の健全育成

指　　標	令和元年度基準値	令和5年度目標値	令和5年度達成値
青少年育成への取り組みが進んでいると思う区民の割合★	34.4%	40%	44.3%
子ども会への加入率	24.6%	25%	14.1%

施策2-3 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

指　　標	令和元年度基準値	令和5年度目標値	令和5年度達成値
高齢者・障害者支援への取り組みが進んでいると思う区民の割合★	50.3%	55%	50.9%
高齢者サロン・共生型サロン※1の実施数	120箇所	122箇所	128箇所
認知症サポーター養成講座※2受講者数(累計)	10,540人	16,200人	13,019人

※1 高齢者サロン・共生型サロン:
高齢者の方が身近な場所で気軽に集まり、楽しくふれあいを深めて交流することができる場所。高齢者サロンは高齢者同士が、共生型サロンは子どもから高齢者までが一緒に交流でき、地域の「お茶の間」や「たまり場」として、元気な高齢者をはじめ地域住民等が自主的に運営しています。

※2 認知症サポーター養成講座:
認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成するための講座。いきいき支援センター等の地域の身近な場所で随時開催しています。

◎主な取り組みの結果

- 区独自の子育て支援サイト「なかがわっ子」をはじめとした子育て支援情報の発信や地域の子育て支援機関と連携して、子育て家庭の交流の場を充実させることができた。（子育て）
- 区独自の健康づくり（フレイル※予防）に関するパンフレットと動画を作成、周知するとともに、「名古屋市フレイル予防ポイント&見守りアプリ」の推奨を実施した。（健康・福祉）

※フレイル：加齢にともない、筋力や心身の活力が低下した状態。

◎課題

- 子育て家庭が困ったときに気軽に支援につながることができるよう、関係機関との連携をさらに深め、支援の場の周知や、つながるきっかけをつくる必要がある。（子育て）
- サロンの廃止やコロナ禍の影響により高齢者と地域とのつながりが希薄になり、孤立やフレイル等の生活課題が引き起こされている。（福祉）
- コロナ禍において、地域での健康教室や相談、がん検診の普及啓発の機会を持てないことがあり、改めて健康づくりへの意識づけが必要となっている。（健康）

第1期区将来ビジョンで実施してきた主な事業

子育て交流イベント

地域の子育て支援機関と連携し、子育て家庭の交流を促すイベントや「子育てスタンプラリー」を開催しました。

子育て交流会

子育て支援に関する情報発信

子育て支援サイト「なかがわっ子」について子育て家庭の実情を踏まえ新たな内容の掲載やスマホでの利用に最適化させる等、情報提供の充実に努めました。

また、子育て支援サイトを利用しにくい家庭には、紙面での情報提供の充実に努めました。

なかがわっ子
ホームページ画面

なかがわっ子
ホームページ

区民の健康づくりの推進

コロナ禍の外出控え・運動不足による認知機能低下を防ぐことを目的に、運動の勧奨を主眼においたフレイル予防動画を作成しました。

また、健康教室や健康相談を実施しました。

フレイル予防動画

その3 魅力あふれるまち

施策3-1 区民のふれあいと交流の推進

指　　標	令和元年度基準値	令和5年度目標値	令和5年度達成値
区民のふれあいや交流を推進する取り組みが進んでいると思う区民の割合★	62.7%	70%	51.7%
区民まつり来場者アンケートにおける満足度	95.7%	95%以上	96.4%

施策3-2 まちの魅力の発掘・発信

指　　標	令和元年度基準値	令和5年度目標値	令和5年度達成値
まちの魅力を発掘・発信する取り組みが進んでいると思う区民の割合★	42.8%	50%	50.5%
SNS※による発信件数	65件	80件	259件

※SNS:Social　Networking　Service(Site)の略。インターネット上で友人を紹介しあって、個人間の交流を支援するサービス(サイト)。会社や組織の広報としての利用も増えてきています。

◎主な取り組みの結果

- 令和4年度に区民まつりを3年ぶりに開催したところ、多くの区民が来場し、来場者の満足度も高く※、ふれあいと交流の場づくりに寄与できた。(ふれあいと交流)
- 区内各所の魅力に着目し、「利家ロード」の整備や戸田祭りの記録映像作成や案内板の設置等、それぞれの魅力を発信するためのさまざまな事業を実施した。(魅力発掘・発信)

※令和4年度区民まつり来場者数:約3万9千人。アンケートで満足と回答した割合:95%

◎課題

- 中川区の魅力を、区民に対してより効果的に発信していく必要がある。(魅力発掘・発信)

第1期区将来ビジョンで実施してきた主な事業

川と歴史を人がつなぐまちづくりプロジェクト

前田利家公がつなぐまちづくり（令和3年度）

前田利家公ゆかりの地を巡る「犬千代ルート」上に、利家公の魅力を発信する新たなスポットとして「利家ロードー槍の又左と歩む道ー」を整備し、開通イベントを実施したほか、前田利家オリジナル商品登録店を拡充しました。

利家ロードー槍の又左と歩む道ー

戸田の伝統文化がつなぐまちづくり（令和4年度）

320年の歴史を誇る「戸田祭り」の次の世代への伝承を促進するため、歴史や魅力を伝える記録映像を作成しました。

また、山車蔵のある5つの神社に案内板を設置し、まち歩きイベントを開催しました。

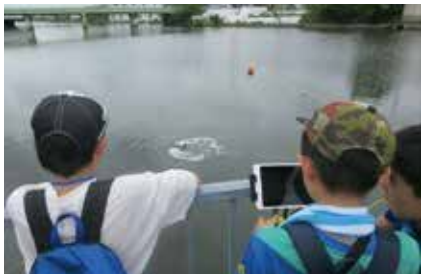
記録映像（本編）　記録映像（ダイジェスト）

記録映像

戸田祭り魅力案内板

子どもたちが創る未来の中川運河づくり（令和5年度）

中川運河が地域住民にとって身近な憩いの水辺空間となることをめざし、緑の回廊の設置や水中ドローンでの運河観察、クルーズ等の体験プログラムを実施したほか、子どもたちが運河の将来像・理想像について考え、未来の中川運河をテーマにウォールアートを制作しました。



水中ドローンでの水中観察

ウォールアート「Nakagawa Water Park」

2 区を取り巻く環境

●中川区を襲った主な災害

東南海地震（昭和19年12月7日）

下之一色地区を中心に液状化現象が発生し、家屋倒壊や死傷者の発生等、大きな被害に見舞われました。名古屋市の震度は5～6と推定されます。

三河地震（昭和20年1月13日）

東南海地震に誘発された地震と推定され、荒子観音寺の本堂が倒壊しました。名古屋市の震度は4～5と推定されます。

伊勢湾台風（昭和34年9月26日）

新川西側の堤防が決壊したこともあり、約11万人が被災し、20名の方が亡くなりました。

東海豪雨（平成12年9月11日）

秋雨前線による猛烈な集中豪雨に襲われ、床上浸水275世帯、床下浸水2,766世帯の被害が発生しました。

中川区役所「中川区 歴史に学ぶ防災マップ」より作成

土地が低く
災害リスクが
高い

中川
2020
区政9

●人口データ

項　目	中川区	名古屋市	16区内順位	時点または期間
世帯数（世帯）	103,739	1,156,744	2位	R5.10.1
人口（人）	217,934	2,326,683	2位	R5.10.1
65歳以上人口（人）	55,438	592,940	2位	R5.10.1
比率（%）	25.4%	25.5%	8位	R5.10.1
15歳未満人口（人）	24,264	266,435	2位	R5.10.1
比率（%）	11.1%	11.5%	8位	R5.10.1
出生数（人）	1,669	16,615	2位	R4.10～R5.9

統計なごやweb版より作成

人口が多い
少子高齢社会
障害者が多い

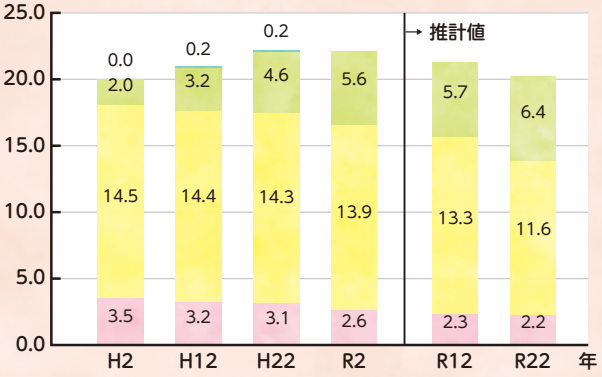
●障害者手帳所持者数（R5.9.30現在）

区　分	所持者数
身体障害者手帳	7,979
愛護手帳	2,271
精神障害者保健福祉手帳	3,562

名古屋市作成

●少子高齢化

中川区の年齢3階級別人口
万人　（年少人口、生産年齢人口、高齢者人口）の推移（各年の10月1日時点）

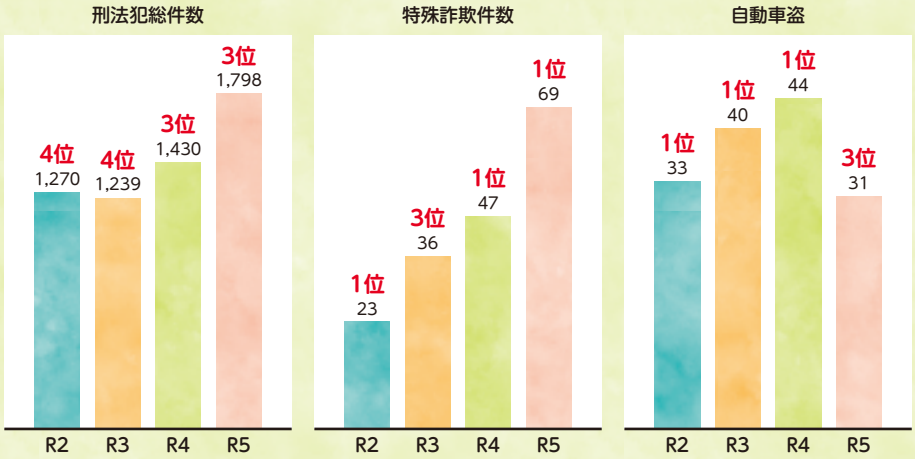


0～14歳　15～64歳　65歳～
年齢不明者（実績値）　R2年から年齢不明者は集計に含まれていません

統計なごやweb版より作成

●犯罪発生状況

※棒グラフ上部の数字は年間発生件数、順位は16区中ワースト何位かを表示

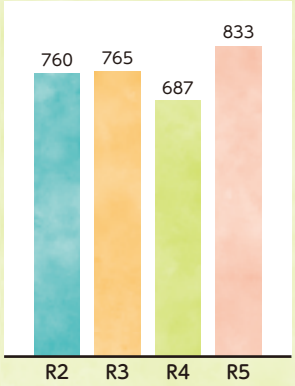


愛知県警察本部資料より作成

悪質な犯罪
交通事故

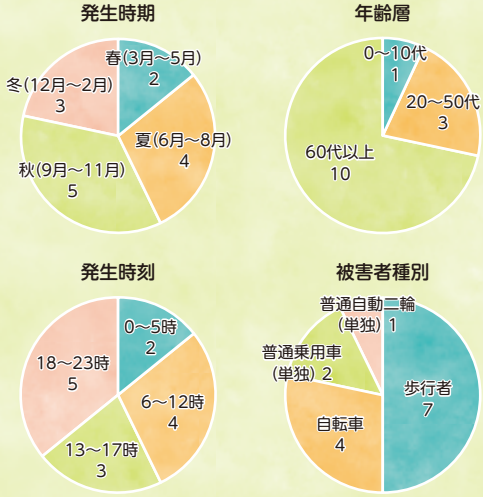
●交通事故発生件数（人身事故のみ）

※棒グラフ上部の数字は年間発生件数



愛知県警察本部資料より作成

●交通死亡事故発生状況（R2～5年）



川区
7年
0周年

歴史や伝統
農業

●前田利家公生誕の地

加賀百万石の藩祖である前田利家公の生誕の地と言われており、荒子観音寺をはじめ利家公ゆかりの史跡が数多くあります。また、あおなみ線荒子駅前に銅像が建立されています。

●区発祥の特産の農作物

「野崎白菜」日本初の結球白菜で、葉肉が厚くやわらかいことが特徴です。水分量が多いため、日持ちせず市場に出回らないことから「幻の白菜」とも呼ばれています。

「名古屋ちりめんハボタン」明治初期に愛知郡高畑村（現中川区高畑）で誕生した「ハボタン」の一種で、葉のフチが細かくフリル状になるのが特徴です。

③ 第2期区将来ビジョンに向けて

○第1期区将来ビジョンをとおして

「つながりづくり♡まちづくり」を合言葉に策定された、第1期区将来ビジョンの計画期間では、長期に渡り、新型コロナウイルス感染症の影響による不要不急の外出・移動の自粛等により、人と人とのつながりが分断された時期がありました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、ほとんどの事業が本来の形で再開されていますが、区民アンケートの意識調査等から、第1期区将来ビジョンで定めた多くの施策の達成度が目標未達となっています。したがって、第2期区将来ビジョンでは、中川区がめざす将来像等の基本方針について、第1期区将来ビジョンの想いを継承し、よりいっそう人と人とのつながりを大切にしたまちづくりを進めていきます。

合言葉についても、引き続き、「つながりづくり♡まちづくり」として、区民の皆さまとともに、中川区のまちづくりに取り組んでいきます。

○安心・安全きれいなまち

南海トラフ地震の発生が懸念される中、新型コロナウイルス感染症の影響によって防災活動が縮小され、防災に関する危機意識が低下しているおそれがあります。災害対策は中川区の最重点施策として取り組みを進めていきます。

防犯、交通安全対策については、「犯罪のないまち中川」、「交通事故のないまち中川」をめざし、中川区は区民の防犯・交通安全意識が高いまちであると広く認知されるよう、さらなる意識向上の取り組みを進めていきます。

○みんなにやさしいまち

家族や世帯のあり方が変化する中、妊娠期から学齢期まで切れ目のない子育て支援や青少年の健やかな成長を支える取り組みを進めていきます。

高齢者や障害のある方が地域で安心して暮らせるよう、適切な支援につなげていきます。

また、幅広い年齢層の方が早期に健康づくりに関心を持ち、心身ともに健やかに暮らせるよう取り組みを進めていきます。

○魅力あふれるまち

新型コロナウイルス感染症の影響による区民まつりをはじめとした各種イベントの縮小、中止を経て、あらためて区民の皆さまのふれあいや交流が大切であると認識しました。中川区には、伝統あるまつりや史跡、農産物等、さまざまな魅力が存在します。これらをより効果的に発掘・発信をしていきます。

第3章　第2期区将来ビジョンでめざす中川区の将来像

1 めざすまちづくり

第2章での第1期区将来ビジョンの総括を踏まえ、第2期区将来ビジョンで中川区がめざすまちづくりを以下の3つにまとめました。

その1
●地震・風水害等の災害に強く、犯罪・交通事故が起こらない、
「安心・安全なまちづくり」

その2
●安心して子育てでき、子どもがのびのび遊び、高齢者をはじめ誰もがいきいきと暮らせる**「みんなにやさしいまちづくり」**

その3
●歴史や実り豊かな農作物等の区の魅力を発掘・発信して、にぎわいや活気があり、快適に暮らせる**「魅力あふれるまちづくり」**

2 まちづくりの合言葉

行政と区民の皆さまとの協働、地域の皆さま同士の連携やつながりが大切であると考え、「つながりづくり♡まちづくり」を合言葉にまちづくりを進めていきます。

つながりづくり♡まちづくり

3 めざすまちづくりに向けた取り組み

「安心・安全なまちづくり」「みんなにやさしいまちづくり」「魅力あふれるまちづくり」を掲げて、区民の皆さまとともに次のように取り組んでいきます。

安心・安全なまちづくり
- ▶施策1-1　災害から生命を守るまち
- ▶施策1-2　犯罪や交通事故から生命と財産を守るまち

みんなにやさしいまちづくり
- ▶施策2-1　安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち
- ▶施策2-2　高齢者や障害のある人も安心して暮らせるまち
- ▶施策2-3　誰もが健康でいきいきと暮らせるまち

魅力あふれるまちづくり
- ▶施策3-1　区民のふれあいと交流が盛んなまち
- ▶施策3-2　まちの魅力の発掘・発信
- ▶施策3-3　快適に暮らせるまち

その1　安心・安全なまちづくり

施策1-1　災害から生命を守るまち

大規模災害に備え、地域防災力の向上を図ります。特に、避難先・避難経路の確認や飲料水等の備蓄をはじめとした家庭での災害への備えを促進するため、総合防災訓練や講演会等の機会と広報なごや等の広報媒体を活用した防災知識の普及啓発により、自分自身や家族の生命を守る自助力の向上を図ります。

また、避難所運営訓練や自主防災訓練等への支援を通じ、地域で協力し合う共助力の向上にも努めます。

成果指標

指　　標	令和5年度 現状値	令和10年度 目標値
防災対策への取り組みが 進んでいると思う区民の割合★	57.8%	63%
家庭での防災対策を行っている区民の割合★	75.8%	81%

施策1-2　犯罪や交通事故から生命と財産を守るまち

「犯罪・交通事故がゼロのまち」中川を実現するために、まず、区民の皆さまや警察をはじめとする関係公署と連携・協力し、啓発キャンペーンの実施や交通安全教室の開催等を通じて、防犯意識と交通安全意識の向上を図り、犯罪や交通事故から区民の皆さまの生命と財産が守られるまちづくりを進めます。

成果指標

指　　標	令和5年度 現状値	令和10年度 目標値
防犯対策への取り組みが 進んでいると思う区民の割合★	54.6%	60%
交通安全対策への取り組みが 進んでいると思う区民の割合★	54%	60%

トピック

○中川区で想定される災害

7つの河川が流れる中川区は、区域の多くが海抜0メートル地帯で、大規模災害時には浸水や液状化が広範囲に及ぶ可能性が高い地域です。「なごやハザードマップ防災ガイドブック」を見て、災害時に自宅周辺でどんなことが起きるのかを確認することが、防災対策を考えるためにも重要です。

風水害による災害リスク

区内の全域で浸水による被害が想定されています。特に、洪水と高潮については、新川と庄内川の間にある地域を中心に大きな被害となるおそれがあります。

	浸水深（区内最大）	浸水継続時間（区内最長）
洪　　水	5.0m ～ 10.0m	2週間以上
内水氾濫	1.0m ～　3.0m	1日～3日未満
高　　潮	5.0m ～ 10.0m	1週間以上

※R5.3発行「なごやハザードマップ防災ガイドブック」を基に作成。
※浸水継続時間は浸水深0.5m以上が継続する時間。

地震による災害リスク

南海トラフ地震発生の危険性が高まっていると考えられており、名古屋市を含む広い範囲で大きな被害となるおそれがあります。特に、中川区では広範囲で強い揺れ・液状化の発生・津波による浸水のおそれがあります。

震　　度	液状化	津　　波
区内ほぼ全域で **震度6強**	区内ほぼ全域で **可能性が高い**	基準水位（区内最大） 1.0m～3.0m

※R5.3発行「なごやハザードマップ防災ガイドブック」を基に作成。

その2 みんなにやさしいまちづくり

施策2-1 安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち

誰もが安心して子どもを生み育てることかできるよう、子育て支援に関する情報の発信の強化や子育て家庭の交流の促進、保健師等による妊娠・出産・子育てに関する相談対応を行います。また、地域の子育て支援機関等の関係機関と連携し、妊娠期から学齢期まで切れ目のない子育て支援を行います。

青少年に対しては、地域や学校と連携し、青少年が自らの活動を発表する場の開催支援や保健師等による思春期に合わせた健康教育の実施等、青少年の健全育成のための取り組みを実施します。

成果指標

指　　標	令和5年度 現状値	令和10年度 目標値
子育て支援の取り組みが 進んでいると思う区民の割合★	57.5%	63%
青少年育成への取り組みが 進んでいると思う区民の割合★	44.3%	50%
新生児・乳児訪問の実施率	98%	100%

施策2-2 高齢者や障害のある人も安心して暮らせるまち

一人ひとりが支えあい、地域を創っていく「地域共生社会」の実現をめざし、誰もが適切な支援につながり、地域で安心して暮らせる取り組みを進めます。

高齢期における医療、介護、在宅医療・介護連携、認知症施策、介護予防、生活支援、住まいが包括的に確保される仕組み「地域包括ケアシステム」の推進に努めます。

また、障害のある方の相談支援体制の充実に努めるとともに、関係団体と連携して、障害者差別の解消や障害者虐待の防止、区民の障害に対する理解の促進を図ります。

成果指標

指　　標	令和5年度 現状値	令和10年度 目標値
高齢者・障害者支援への取り組みが 進んでいると思う区民の割合★	50.9%	56%
認知症サポーター養成講座受講者数(累計)	13,019人	18,600人

施策2-3 誰もが健康でいきいきと暮らせるまち

子育て中の母親が参加できる運動教室からフレイル予防教室まで、幅広い年齢層の方々が参加できるような健康教室の開催を実施します。

また、がん検診の積極的な啓発・普及を行うことで、受診率の向上をめざします。

成果指標

指　　標	令和5年度 現状値	令和10年度 目標値
幅広い年齢層への健康づくり支援の取り組みが進んでいると思う区民の割合★	45.8%	55%

トピック

○地域共生社会

制度・分野の枠や「支える側」「支えられる側」という従来の関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち助け合いながら暮らしていくことのできる社会のことです。

地域共生社会を実現するためには?

地域共生社会を実現するための取り組みとして、地域包括ケアシステムの推進や、**重層的支援体制整備事業**による包括的な相談支援体制の構築等があります。

重層的支援体制整備事業とは?

いくつもの複雑な困りごとを抱える方が、相談できずに地域から孤立してしまったり、既存の制度だけでは支援が十分行き届かないといった状況に対応するために、

①属性や世代を問わない相談の受け止めと適切な相談支援機関と連携した継続的な支援

②社会とのつながりが希薄な方の居場所づくり、就労支援などの社会参加支援

③気軽に交流できる場づくり、気にかけあい支えあうことのできる地域づくり

を一体的に実施する事業です。中川区でも令和5年4月から始まり、様々な相談支援機関と連携し困りごとを抱える人に寄り添った取り組みを進めています。

その3 魅力あふれるまちづくり

施策3-1 区民のふれあいと交流が盛んなまち

地域、企業、関係団体等と連携・協力して、区民まつりをはじめとしたさまざまなイベントを開催することで、幅広い世代の方が気軽に参加し、交流することができる場を創出し、区民相互のふれあいや交流の推進を図ります。

成果指標

指　　標	令和5年度 現状値	令和10年度 目標値
区民のふれあいや交流を推進する取り組みが進んでいると思う区民の割合★	51.7%	63%
区民まつり来場者アンケートで「とても良かった」と回答した来場者の割合	68%	73%

施策3-2 まちの魅力の発掘・発信

区名の由来となった中川運河をはじめとした豊かな水辺環境や、「前田利家公」ゆかりの史跡、区内発祥の特産農産物等、中川区の魅力をさまざまな機会を通じて積極的に情報発信することで、中川区に対する誇りや愛着の醸成・高揚を図ります。

成果指標

指　　標	令和5年度 現状値	令和10年度 目標値
SNSによる発信件数	259件	272件
中川区に愛着を感じている区民の割合★	87.7%	93%

施策3-3 快適に暮らせるまち

誰もが快適に暮らせる環境をつくるため、区民の皆さまや関係機関・団体と連携協力し、クリーンキャンペーン等の「まちを美しくする運動」の推進や空地・空家等の適切な管理の推進を図ります。

また、ペットの飼主を対象に、区民からの情報やイベント等の機会を活用しながら、ペットの飼主マナー向上について、啓発等の取り組みを進めます。

成果指標

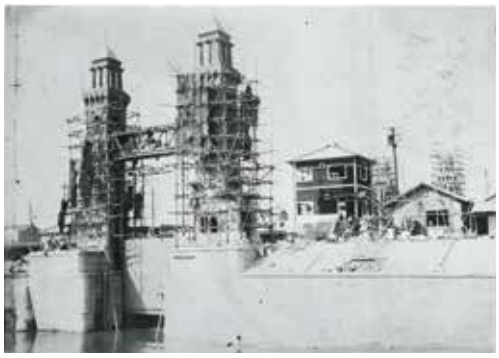
指　　標	令和5年度 現状値	令和10年度 目標値
快適な環境づくりへの取り組みが 進んでいると思う区民の割合★	49%	55%

トピック

○中川運河

中川運河は、名古屋港と旧国鉄笹島貨物駅との間の貨物輸送と、江戸時代の初期から名古屋の物流の大動脈となっていた堀川との相互通行を図るため、上流部は笈瀬川、下流部は中川と呼ばれていた曲がりくねった川幅の狭い浅い川を、真っ直ぐに広く深く掘って造られ、昭和7年に全線が開通しました。

この運河には、水位を調節して船が通過できるように、中川口と松重に閘門(通船門)が造られました。また、運河の開削に伴う大量の土砂で沿岸を埋め立て、工場や倉庫を誘致したことにより、沿岸は名古屋市南西部の発展の拠点となりました。以後、中川運河は「東洋一の大運河」と称され、名古屋港と都心を結ぶ水運による一大輸送幹線としての役割を果たしました。



建設中の松重閘門(名古屋港管理組合提供)

昭和40年代に入ると、水運による貨物輸送はトラック輸送へと転換し、運河の水運物流が減少しました。「うるおいや憩い、にぎわいをもたらす運河」への再生を目指すため、平成24年に「中川運河再生計画」が策定され、水上スポーツや芸術活動が行われるようになったほか、貴重な水辺景観を活用した飲食店の立地やクルーズ船の運航等、中川運河は新たな役割を果たすようになりつつあります。

第4章　めざすまちづくりの実現に向けて

1 区将来ビジョンの進行管理

めざすまちづくりに向けた具体的な取り組みについては、毎年度策定する「区政運営方針」で皆さまにお知らせします。

また、取り組み一つひとつについて、達成度などの評価を行い、その結果や区民の皆さまのご意見等を参考に、取り組み内容の改善や拡充、新たな取り組みの実施や廃止を行う等、めざすまちづくりの実現に向けて進行管理を行っていきます。

2 住民に身近な総合行政機関

区のあり方基本方針（平成29年3月策定）においては、めざすべき区役所像を、地域の課題解決や区の特性に応じたまちづくりに住民の皆さまとともに取り組む「住民に身近な総合行政機関」としています。

そのため、中川区役所では、窓口サービスの向上を図る等、利用しやすく親しまれる区役所をめざすとともに、区民会議の開催や区民アンケートの実施により皆さまの声をよく聴き、区政へ反映していきます。

3 DXの推進

名古屋市役所DX推進方針（令和4年3月策定）においては、デジタル技術の活用により、一人ひとりにより適したサービスの提供をめざしています。

紙媒体での申請やお知らせ、対面を前提とした受付といったアナログ的な規制や手続きのあり方を見直し、手続きのオンライン化や「待たなくてよい」「書かなくてよい」「分かりやすい」スマート窓口の導入等を進めていきます。

4 SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて

SDGsは、2030年までに達成すべき世界共通の目標であり、健康や教育、経済成長、気候変動などに関する17のゴールで構成されています。

区将来ビジョンの施策を推進していくことにより、SDGsの達成に寄与すると考えられるゴールについて、そのアイコンを「めざすまちづくり」に掲げています。

中川区のシンボル

○ 区のシンボルマーク

昭和61年12月に制定。
中川区の「中川」の文字を区の全形にデザイン化し、川が多いという区の特徴を文字の中にイメージしたものです。

○ 区の木 クロマツ

昭和62年(区政施行50周年)5月に区の木に制定。
海岸近くに生育する常緑高木で、潮風に耐えることから、防風・防潮林として用いられ、松原や松並木の名所が各地にみられます。

○ 区の花 ハボタン

昭和62年(区政施行50周年)5月に区の花に制定。
葉の集まりがボタンの花を思わせる、ヨーロッパ原産のアブラナ科の植物です。「祝福」や「利益」といった花言葉から、万両とともにお正月飾りとして親しまれています。

○ 区をイメージする漢字「青」

平成30年度中川区区民まつり「中川区をイメージする漢字決定選挙」で選ばれました。
多くの川、あおなみ線、青信号(安心・安全のまちに向かって進む)、青菜(ミツバ等)から区をイメージしたものです。

○ 区のマスコットキャラクター

ナッピー

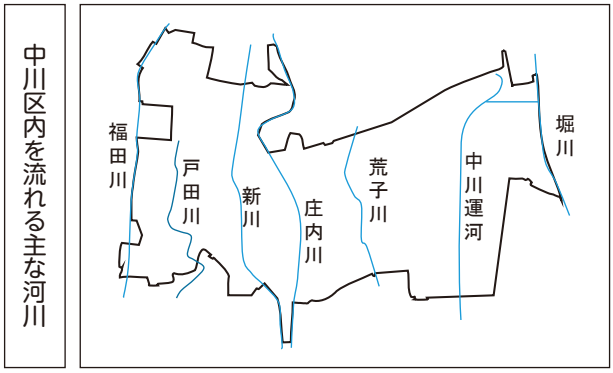
不思議な川の生き物
誕生日:8月1日
性格:頑張り屋
チャームポイント:
どうしても直らない2本の寝ぐせ

ハボン

「ハボタン」の小さな妖精
誕生日:10月28日
趣味:
花をきれいに咲かせること

中川区ってこんなまち

中川区は、名古屋市の中西部に位置し東西に長く広がる地形で、区内には区名の由来となった中川運河をはじめ、福田川、戸田川、新川、庄内川、荒子川、堀川の7つの河川が流れています。



東部は、古くからの商店街を中心に発展を続け、中川運河沿いには鉄工所・木工所・倉庫等が立ち並び、工業地帯を形成しています。

また、近年では中川運河沿いで水面を活用したアートイベントが行われる等、新しい試みが行われてきています。

中央部は、区役所をはじめ主要な官公所が立地し、地下鉄高畑駅周辺は商業地域としても発展しています。

また、前田利家公生誕の地である荒子には、尾張四観音の一つである荒子観音寺をはじめ、多くの史跡があります。なかでも、荒子観音寺には、千体以上の円空仏や国の文化財に指定されている多宝塔があります。

西部は、古くから稲作を始めとした農業が盛んな地で、現在も多くの田畑が残る自然豊かな地域です。

また、元禄15年から約320年の歴史を持つ戸田まつりは名古屋市指定無形民俗文化財に指定されており、4年に1度山車祭が行われます。

区のあゆみ

年　月	事　柄
昭和12年10月	中区と南区の一部を合わせて中川区創設
昭和30年10月	富田町を中川区に編入
昭和50年1月	現中川区役所庁舎完成
昭和57年9月	地下鉄高畑駅開業
平成2年10月	第1回中川区区民まつり開催
平成2年10月	人口20万人突破(第15回国勢調査)
平成3年1月	現富田支所庁舎完成
平成16年8月	区のマスコットキャラクター「ナッピー」誕生
平成16年10月	あおなみ線開業
令和3年5月	名古屋第二環状自動車道名古屋西JCT以南開通

発行・編集

名古屋市中川区役所区政部 企画経理課
〒454-8501 名古屋市中川区高畑一丁目223番地
電話: 052-363-4383 FAX: 052-363-4316
E-mail: a3634304@nakagawa.city.nagoya.lg.jp

令和6年5月 発行